

○行政区別男女別年齢3区分別の転入超過数 — 転入超過数が最も多いのは中京区 —

平成24年中の行政区ごとの転入超過数をみますと、最も転入超過数が多いのは中京区の903人で、次いで右京区の528人、下京区の469人の順でした。また、11区中、7区が転入超過、4区が転出超過でした。

男性の転入超過数が最も多いのは中京区の305人で、次いで右京区の204人、南区の196人の順でした。また、11区中、6区が転入超過でした。

女性の転入超過数が最も多いのは中京区の598人で、次いで下京区の341人、右京区の324人の順でした。また、11区中、6区が転入超過でした。

年齢3区分別に転入超過数をみますと、0歳から14歳までの年少人口では6区が、15歳から64歳までの生産年齢人口では7区が、65歳以上の老年人口では6区が、それぞれ転入超過となりました。

表-1 行政区別男女別年齢3区分別転入超過数(平成24年)

(単位 人)

市・行政区	総数				男性				女性			
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
京都市	1,722	-370	2,145	-50	329	-222	580	-26	1,393	-148	1,565	-24
北区	-141	85	-249	23	-101	58	-174	15	-40	27	-75	8
上京区	328	25	345	-42	193	5	202	-14	135	20	143	-28
左京区	224	108	166	-50	0	43	-31	-12	224	65	197	-38
中京区	903	82	865	-44	305	32	271	2	598	50	594	-46
東山区	36	19	109	-92	86	3	105	-22	-50	16	4	-70
山科区	-261	-105	-177	22	-179	-47	-131	0	-82	-58	-46	22
下京区	469	-125	638	-44	128	-72	216	-16	341	-53	422	-28
南区	284	-175	449	10	196	-87	291	-8	88	-88	158	18
右京区	528	29	422	78	204	24	136	45	324	5	286	33
西京区	-330	-74	-267	11	-213	-39	-170	-4	-117	-35	-97	15
伏見区	-318	-239	-156	78	-290	-142	-135	-12	-28	-97	-21	90

○地域別の転入超過数 — 関東及び近畿を除き転入超過 —

平成24年中の京都市における転入超過数を地域(注)別にみますと、最も転入超過数が多い地域は中部からの746人で、次いで中国からの507人、九州からの403人の順でした。

平成24年と、平成22年及び平成23年とを比較しますと、平成22年は関東及び近畿について転出超過、平成23年は近畿のみ転出超過となっていました。平成24年は平成22年と同じく、関東及び近畿について転出超過となりました。

(注)北海道を除く各地域に含まれる都府県は、次のとおりです。

東北 = 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島

関東 = 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川

中部 = 新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重

近畿 = 京都, 滋賀, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山

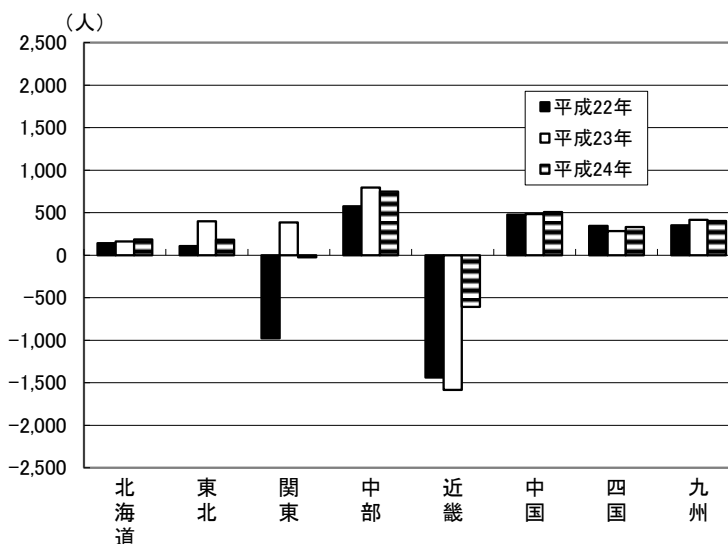
中国 = 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口

四国 = 徳島, 香川, 愛媛, 高知

九州 = 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

なお、近畿に含まれる京都府の数値は、京都市と、京都府内の京都市を除く市町村との転入超過数です。

図-3 地域別転入超過数 (平成22年から平成24年)



この統計トピックに掲載しているデータに加え、京都市における都道府県別の転入・転出者数等を、「京都市の統計情報 (Statistics Kyoto City)」 (<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/index.html>) に「Microsoft Excel」形式で掲載しています。